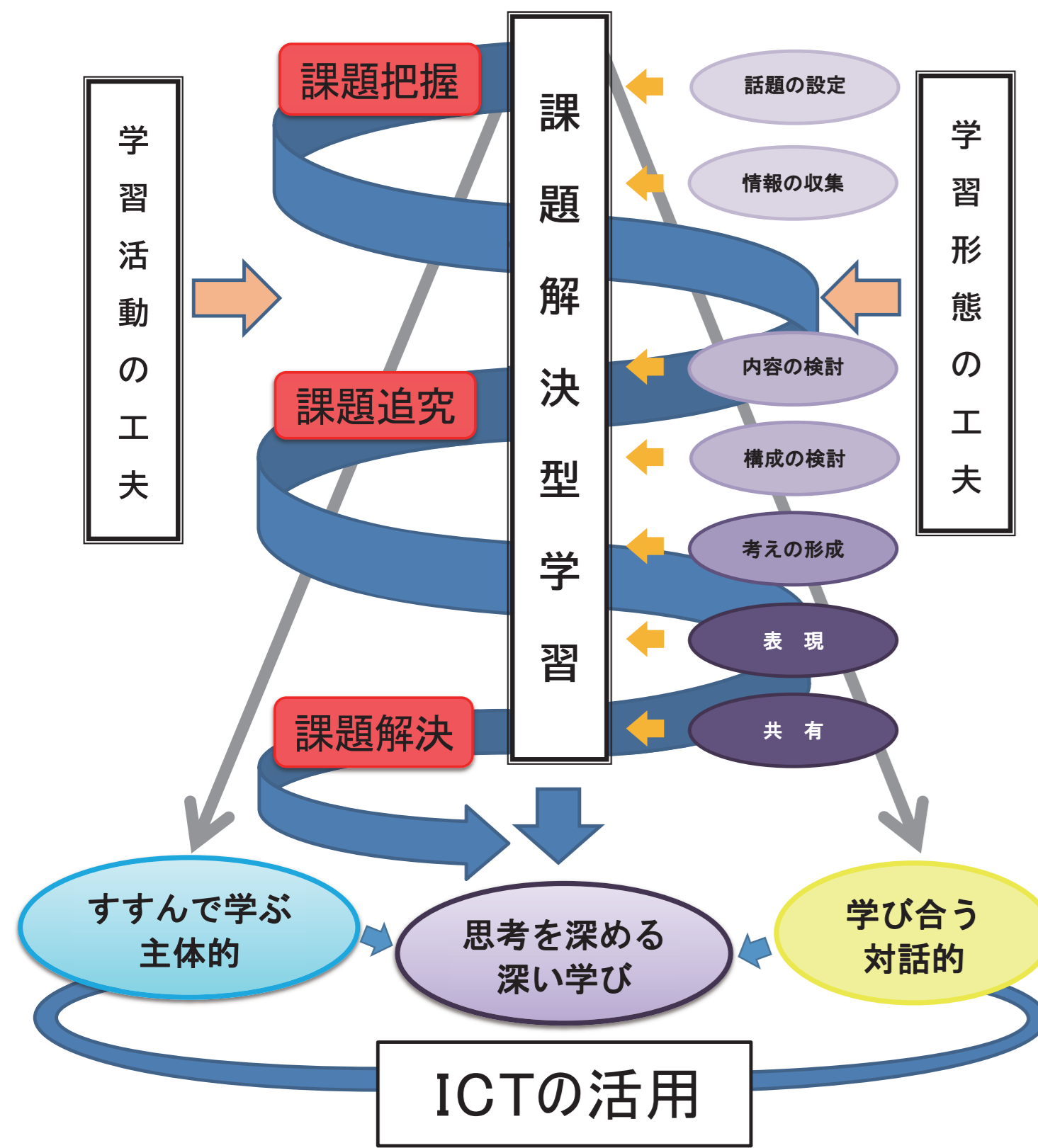


芝小学校の国語科学習のイメージ図



ま と め

<成果>
 ○相手意識や目的意識をもって学習に取り組み、情報を集めたり繰り返し発表の練習をしたりして、児童が主体的に活動する姿が見られるようになった。
 ○ペアでの学習やグループで話し合いをするなどの学習形態を工夫することで、進んで関わり合おうとする意欲を高めることができ、また相手の考えを聞くことで自分の考えを広げることができた。
 ○タブレットを使って画像を示しながら相手に話すことで、伝えたいことをより詳しく話すことができた、聞き手の関心を高めたりすることができた。
 ○タブレットタイムなどでタブレットに触れる時間を保障することで、多くの技能を習得できた。

<課題>
 ○児童が主体的に対話的な学習活動に取り組むことができるように、国語科における「課題解決型学習」についての理解を深める必要がある。
 ○話す・聞く活動を中心としたことで、音声となる発言を残していくことに難しさを感じた。評価方法について、検討していく必要がある。
 ○国語科でのタブレットの活用は「思考の可視化」「共有の円滑化」「試行の繰り返し」の3点に絞って研究を進めたが、「記録の蓄積」や「評価」といった活用方法についても検討していく必要がある。

あいさつ

港区教育委員会教育長 青木 康平
 これから到来する Society 5.0 時代を見据え、子どもの力を最大限に引き出す学びを実現するために、港区教育委員会では、港区学校情報化アクションプランを定めており、主体的・対話的で深い学びの実現や、子どもたちの情報活用能力の育成を目的として、学校の ICT 環境の整備を進めています。
 こうした中、芝小学校は、港区教育委員会研究パイロット校として全学年の児童に一人一台のタブレット端末を配備し、その活用の在り方について2年間におたつて研究を進めました。研究主題を『「すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成」～国語科の話す・聞く活動を中心として～』と設定し、国語科の授業において、思考を可視化したり試行を繰り返したりする等、タブレット端末の特長を生かした授業の質の向上を目指した取組は、ICTを活用した授業に関して多くの示唆を与えてきています。各学校は、本校の研究成果を活用し、新時代の学びを支える ICT 教育の質の向上を目指した実践に一層御尽力いただきますようお願いいたします。
 結びに、研究を推進されました齋藤幸之介校長をはじめ、教職員の皆様に敬意を表するとともに、御指導をいただきました江森利公先生、ならびに御協力を賜りました保護者・地域の皆様に深く感謝申し上げます。

校長 齋藤 幸之介
 港区立小学校の ICT 教育、特にタブレットの活用の充実を図るべく命を受けた研究は、新しい教育のあり方を提案できる価値あるものと自負している。一方で、本校の児童の実態及び教師の願いから導き出した「国語科『話す・聞く』領域」に焦点を当てた意味は、これからの社会に求められる姿の一つ「協働」の具体化を目指すものでもあった。月並みながら「まだ道半ば」、しかしここまで、本研究に携わった全教職員が悩みながらもがきながらも一つのあり様を示したからこそ、本校の未来に大いに寄与すると深く認識している。
 末筆になりますが、2年間の研究を支えてくださった 港区立芝浦小学校元校長 江森利公先生、文部科学省生涯学習政策局プログラミング教育戦略マネージャー「未来の学びコンソーシアム」プロジェクト推進本部本部長代理 中川哲先生、東京都教職員研修センター教授 篠原敦子先生、港区立御田小学校長 濱尾敏恵先生、貴重な機会を与えてくださいました港区教育委員会教育長 青木康平様を始めとする港区教育委員会の皆様に深く感謝申し上げます。

研究に携わった教職員

| ★印 研究主任 | | ○印 研究推進委員 | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 校長 齋藤 幸之介 | 副校長 坪井 由賀里 | 1年副任 長谷川 里菜 | |
| 1-1 ○黒田 兼正 | 1-2 浦波 美菜 | 3-1 ○石嶋 賢 | 3-2 釣 将大 |
| 2-1 ○齋藤 文子 | 2-2 土田 順子 | 5-1 ○三山 明子 | 5-2 ○岩崎 実 |
| 4-1 ○高橋 さや香 | 4-2 荒井 かりん | 数少人数 城宝 麻里 | 音楽 ○石井 ゆきこ |
| 6-1 ☆岩田 寛子 | 6-2 中嶋 広大 | 産休 中川 奈穂 | |
| 図工 井波 尚子 | 養護教諭 村上 咲 | 産休 二瓶 正友 | |
| 事務 瀧野 直子 | 用務主事 武藤 肇 | 用務主事 大嶋 光代 | |

<平成30年度職員>
 副校長 菊原 寛之 實松 里津子 森木園 幸子 吉羽 颯人 岩崎 舞 新井 理以子

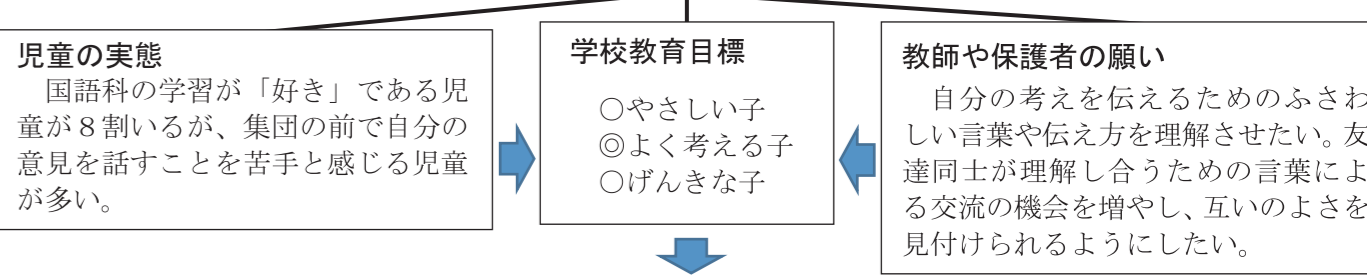
平成30年度・令和元年度
 港区教育委員会 研究パイロット校 ICT教育の実践

研究主題
 「すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成」
 ～国語科の話す・聞く活動を中心として～

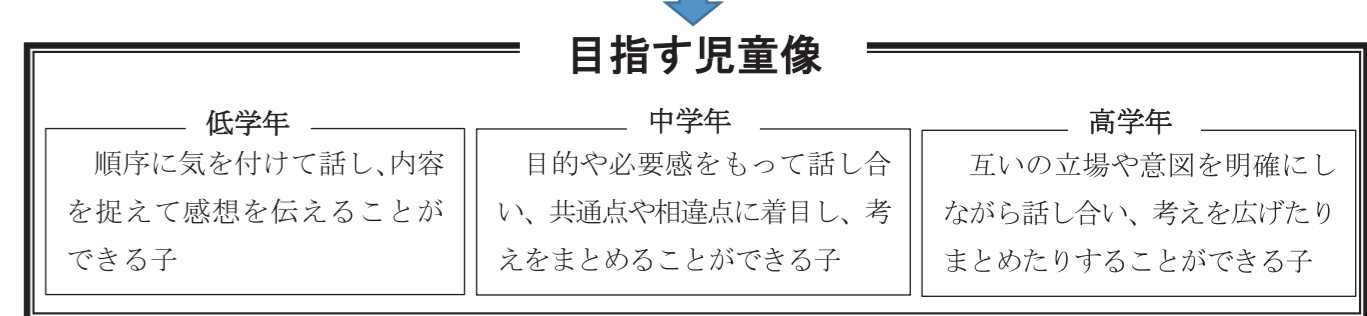


令和2年2月14日(金) 13時25分より
港区立芝小学校
 〒105-0014 東京都港区芝 2丁目21番3号
 TEL 03-3456-3072 FAX 03-3456-3071
 HP <http://shiba-es.minato-ky.ed.jp/>

「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和)の育成



研究主題
 「すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成」
 ～国語科の話す・聞く活動を中心として～



研究の仮説
 国語科の授業において、一人一人が自分の考えをもったり、分かりやすく伝えようとしていたりする学習活動を工夫し、日常的な取組の充実や言語環境を整えれば、「すすんで考え、学び合い、思考を深める」ことができるであろう。

